

七月一八日・集中豪雨の被害状況のご報告と ご支援いただいた皆様への「ごあいさつ」

平成16年7月18日朝、
岡本川と神宮川が氾濫しました。

皆様もニュース等でご承知のように、去る7月17日夜半から18日朝にかけて福井県地方を襲った集中豪雨は、ここ「越前和紙の里」今立町大滝地区にも大きな被害をもたらしました。大滝地区は、狭い谷あいには和紙の漉き場が集中している所です。18日午前9時ごろに岡本川および神宮川が氾濫し、大門通りをはじめとする地区内の道路は渦巻く泥の河と化しました。組合事務所付近では一時、水かさが一メートル近くに達しました。

この水害で組合員事業所71軒の内、45軒が浸水の被害を受けました。また、建替えのため仮設移転している当組合の事務所も床上まで浸水しました。

各事業所では、和紙はもとより、コンピュータ、断裁機や製紙機械のモーター、ポンプなどが水に浸かり、被害総額は一億六千万円と見積もられています。

越前和紙の里は 着実に復興しています

被災直後から各方面の支援機関を通じて、また和紙の里を案じる個人、企業のみならずなど一〇〇人を超えるボランティアの方が復興支援に駆けつけてくださいました。本当にありがとうございます。また、お手紙やお電話で、たくさんの方の励みやご支援をいただきました。あらためてお礼申し上げます。

皆様方の心暖いご支援のお陰で、被災から二週間で漸く後かたづけもほぼ完了し、漉き場も操業を再開はじめました。いまだに岡本川、神宮川には泥が多く混じり、井戸や工業用水も通常の清浄さを取り戻すには至っていませんが、越前和紙の里はようやく落ち着きを取り戻しつつありますことをご報告いたします。

温かいご支援、ほんとうに、 ありがとうございます。

被害後の皆様からの救援物資、お見舞い金、義援金、ボランティア援助作業など、暖かいお心遣いやご支援には私共も大変勇気づけられました。改めて産地の者一同、心より御礼を申し上げます。改めて産地の者一同、心より御礼を申し上げます。改めまして報告をさせていただきます。私共は和紙の産業と文化の発展に努力していく所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、「和紙だより」夏号は、印刷直前に被害を受けましたので、発行が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

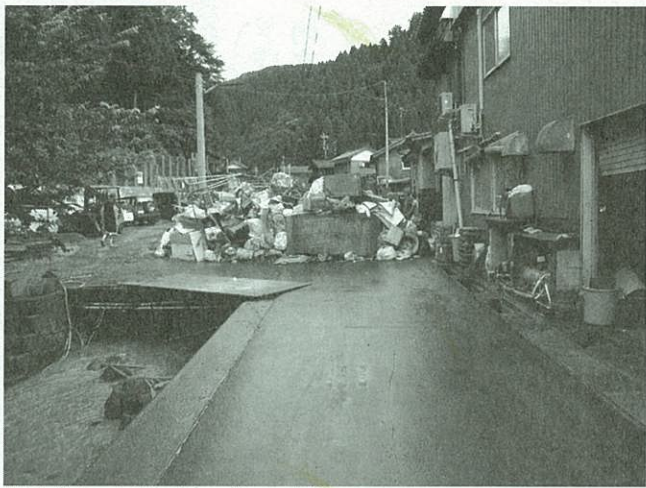
平成一六年八月
福井県和紙工業協同組合



濁流が去り、ゴミの片付けも進んで
今立町大滝の大門通は、やっと平静さを取り戻しました

平成16年7月18日朝
今立町大滝の大門通が、泥の激流になりました





濁流が去った後には、ゴミの山が



濁流は一時、川沿いのフェンスに達しました



神宮川上流の護岸が崩壊しました



通りはゴミの山で埋め尽くされました



支援ボランティアの方々が駆けつけてくれました



少しずつ、着実に、片付けは進められました



製紙所でも機械や製品が泥をかぶりました



それぞれの漉き場では後片づけに追われました